



エルフの養母

～愛するママとエッチなしまたり～

成人向け

あるところに
リーネという
ハイエルフと

あら……♡

おかえりなさい♡

母さん
ただいま

頼まれてたヤツ
もらってきたよ

まあ……♡

いつもいつも
ありがとう♡

リックという
ハイエルフの青年が
共に暮らしていました





……ぎ、
気になくても
いいよ

俺が
やりたくて
やってるだけだし

いいえ……

ふたりの間に
血の繋がりはなくとも
実の親子のように



私には
わかります……

坊やの
優しさと



ありがとう ♡

私への
気遣いが……

仲良く
暮らしていました



俺、この後
母さんと――

大丈夫……♡

全てを
口に出さずとも

坊やのことなら
何でも
分かります……♡

だから先に戻って
坊やの部屋で
待っていて……♡

か……
母さんっ



すぐに
私も部屋へ
向かいますから……♡

幸せな毎日に
訪れた転機――

それは
リクからリーネへの
ある「お願い」が
きっかけでした



愛する者同士が
お互いを
深く知るために

性行為を行うという
「エルフのしきたり」



リクはその相手を
養母であるリーネに
お願いしたのです

その申し出に
リーネは
戸惑ったものの――



……
わかりました

母も
初めてですが……

共に
頑張りましょう……♡

その日

ハッ

ハッ

ハッ

母やふ...

リクは
リーネを一日中
抱き続けました

はっ

はっ

「共に暮らしていても
知らないことが
まだたくさんある」

身体を重ねることで
そのことが
不思議と
理解できたのです

あ

はっ

はっ

くっ...♡





あらあら……♡

ごめん、母さん……
もうこれ以上
されたら――



それなら
母の
お乳オマンコで♡

坊やの
ねばねば
真っ白おしっこ♡

受け止めて
あげないと
いけませんね……♡

おにゃ!!





そして
そのたびに
思いました

どうやら
坊やも

準備が整った
ようすですし……♡

しゃる…



今度は
こちらの……♡

母の
とろとろ
生オマンコ
にべろぞ……♡

はっ

むわぁ

「大切な母さんを
誰にも
渡したくない」と

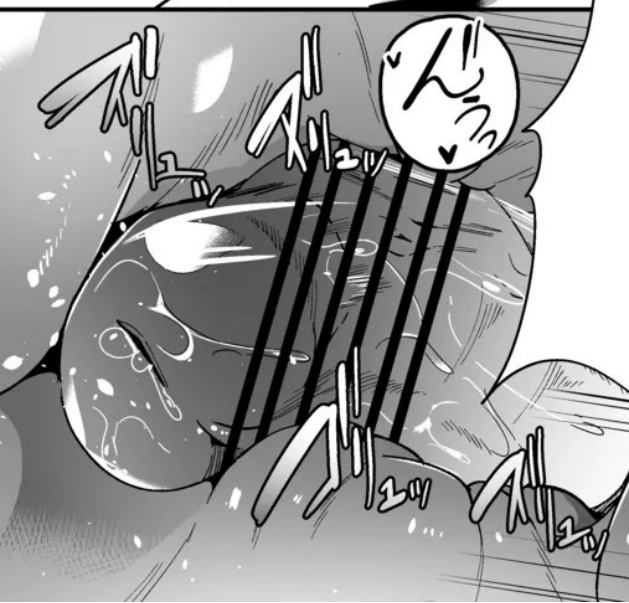


坊やの肉竿っ♡



オマンコの
中をつ♡

ほじくり回して
きますっ♡



毎日、毎日……

坊やがっ♡
こんなにも
求めてくれて……♡

母は嬉しく
思います……♡

今朝も
起きてすぐに

慌ててはっ♡
いけませんっ♡

あれだけ
励んで
いましたから……♡

坊やは
まだっ♡

目覚めたばかり
なのですからっ♡





あぁっ♡

うわぁぁぁ!!

ふっ

ふっ

びゅ♡
しましろう♡

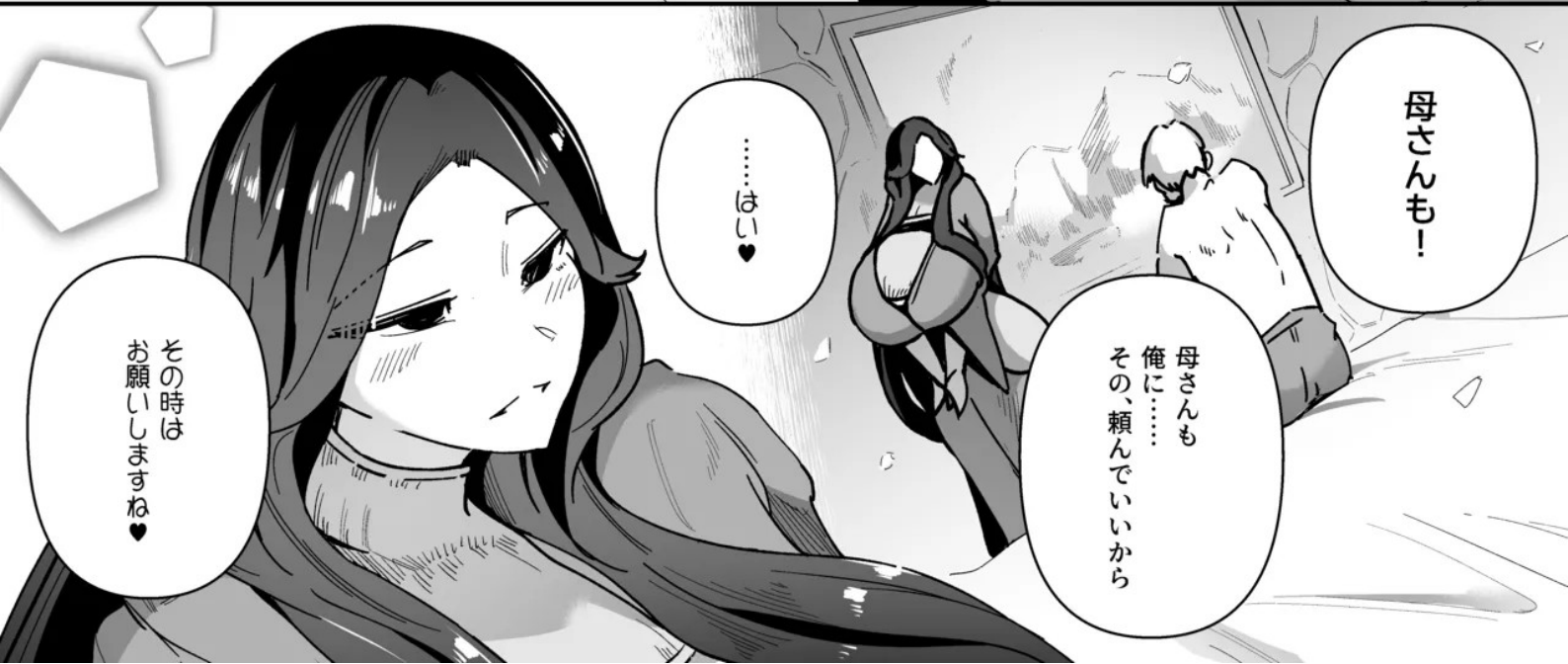
感じます……♡

坊やの
キモチが……♡

はっ

はっ

ぢゅ♡
ぢゅ♡



しかし

リーネが
リクへと頼むことは
一度もなく

それは
リクにとって
気がかりなことでも
ありません

……
喉乾いたな

しかし
ある日の夜――

それに……
この声……!?

あゝんん
あゝ
はゝ

……?
母さんの書斎から
明かりが……



母さん!?

ダメ……♡
こんなこと♡

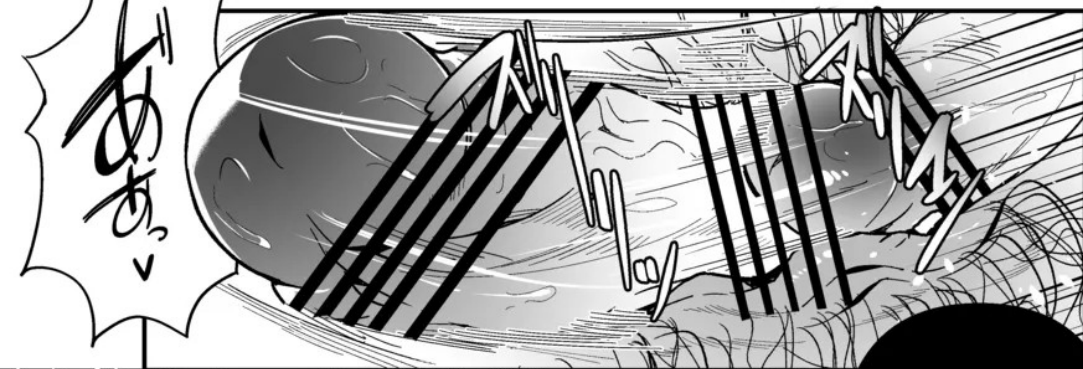
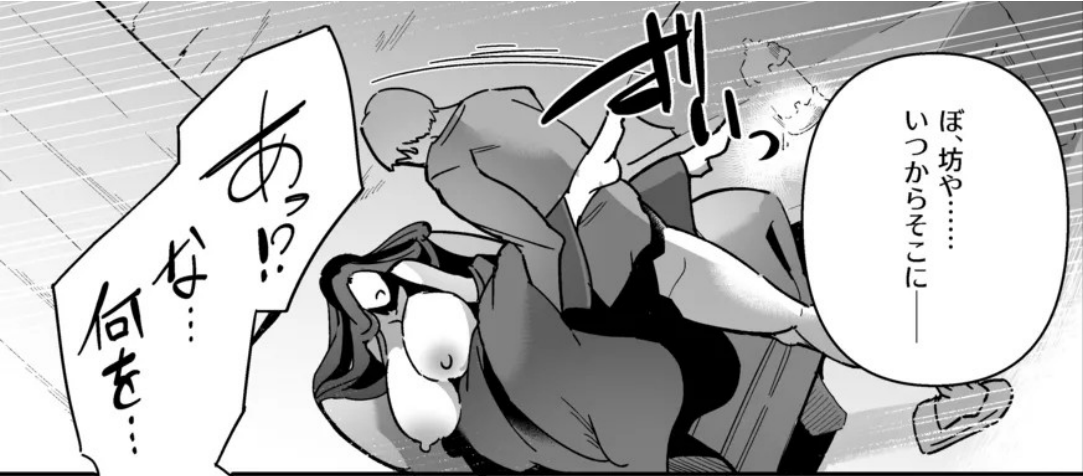
オマンコ♡

疼きが♡
止まらないの♡

リクは
リーネの痴態を
目にしてしまいます









……
怖かったのです……

坊やに……

嫌われて
しまうのでは
と……



夜な夜な
淫らな行為に
耽っている……

いやらしい
母の本性を
知られては……

坊やに……

軽蔑されて
しまう……



お願い……
このことは
忘れて……

母とは
今まで通り





母さんが
俺と同じ気持ち
だったんだから

甘め、
これ以上は
もう……



もっと
愛し合いたいと
思ってたんだ！

俺だって
母さんと



こんなっ♡
哀れな母を
求めてはっ♡

母は坊やに
甘えきつて
しまいますっ♡

抑えきれなく
なつて
しまいますっ♡♡



母さん……

もう
遠慮しなくても
いいんだよ

あ……
は……

ため……
ため……

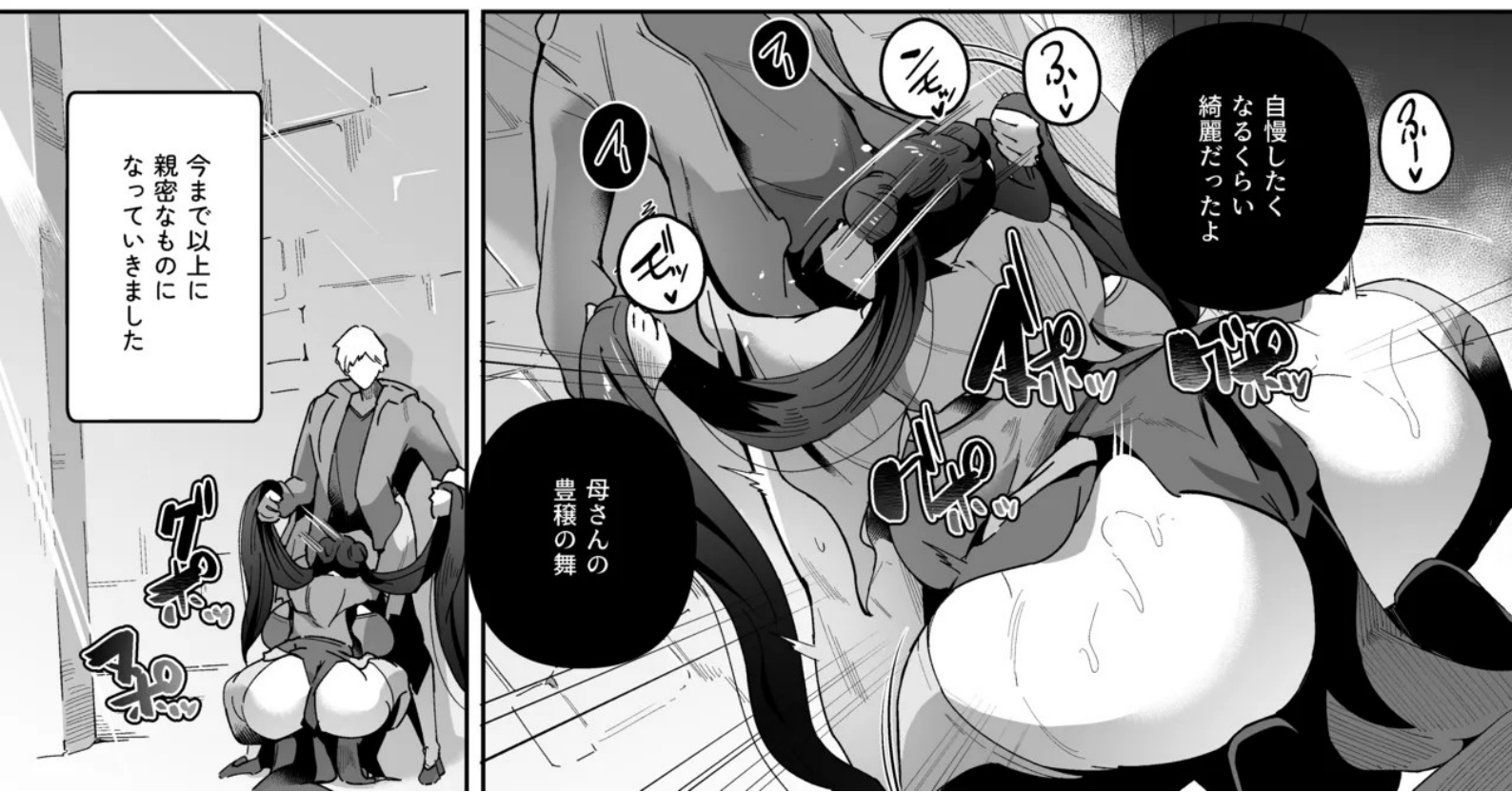
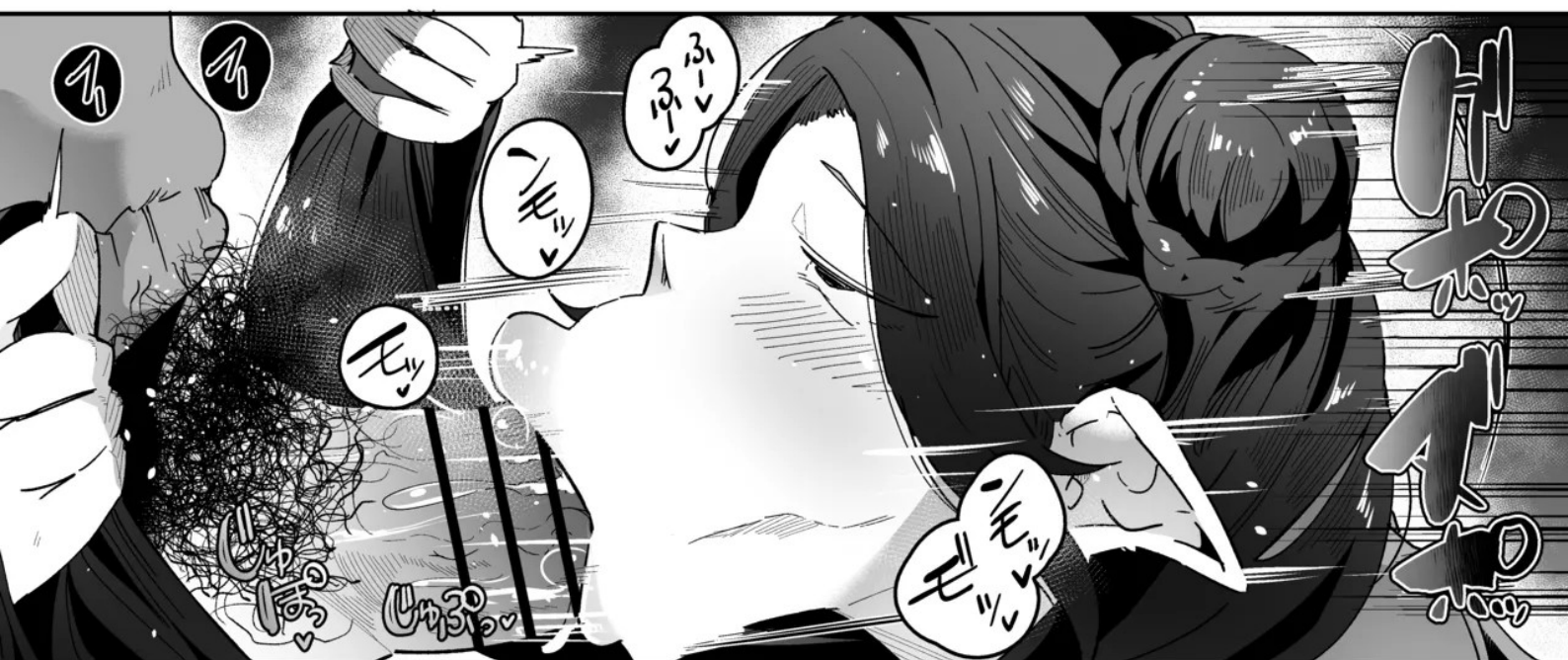
俺も母さんのこと
もっと
知りたいんだから

あ……

あ……



リクとリーネの
関係は



傲慢したく
なるくらい
綺麗だったよ

母さんの
豊穣の舞

今まで以上に
親密なものに
なっていました



リーネは
抑え込んでいた
淫らな欲求を

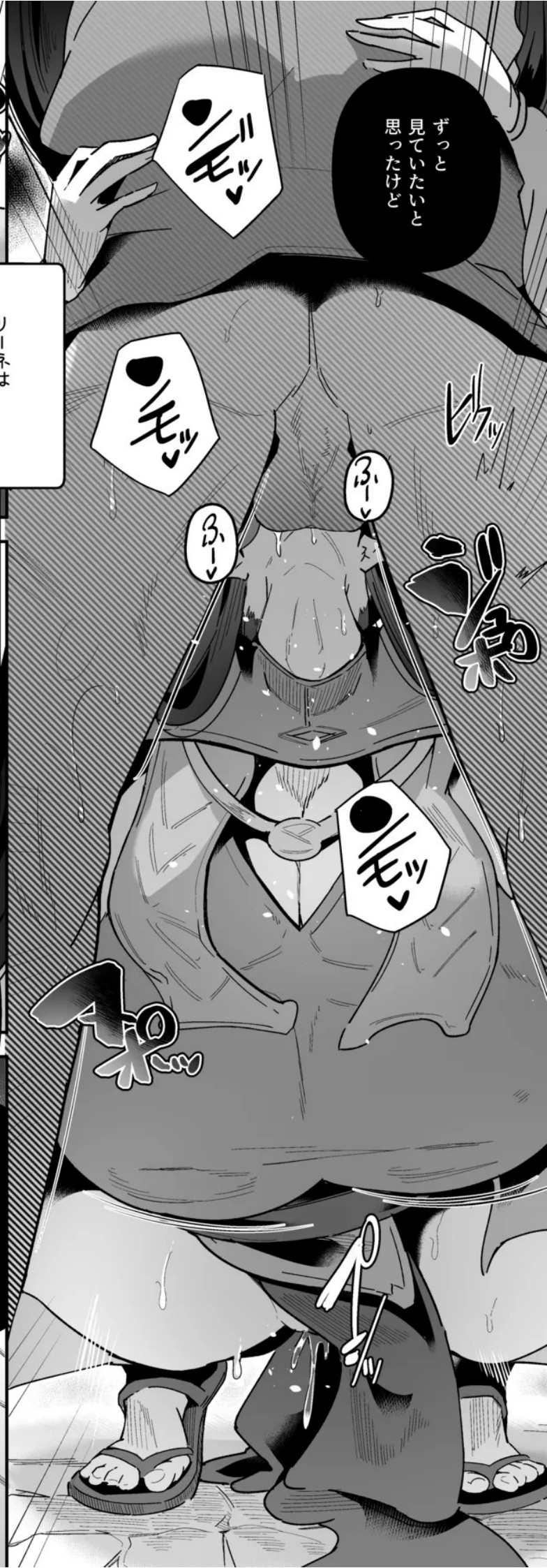


リクに
隠すことも
なくなりました



でも
今の母さんの
下品な顔の方が……

今の
俺にとっては……



ずっと
見ていたいと
思ったけど



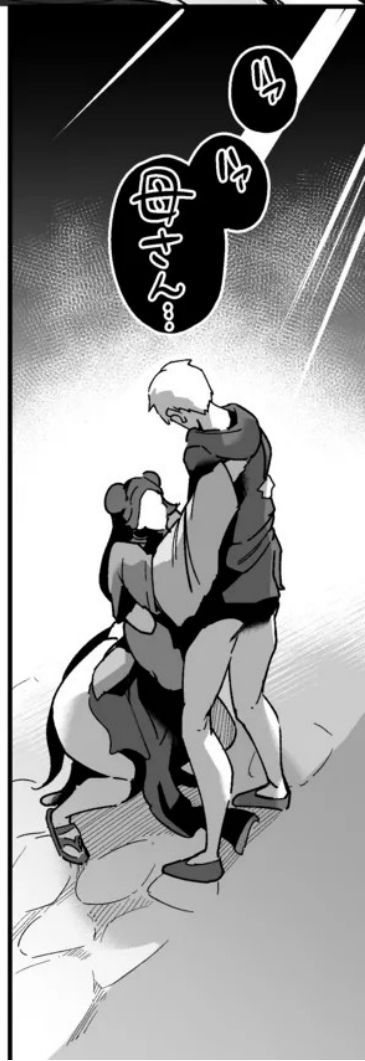
母さんに……
全部
搾り取られる……



それに
伴って



リックとリーネの
性行為の内容は





あ……

で……♡
です……♡♡
色欲に塗れた
卑しい母の
哀れな肛門から……♡

坊やが
注いでくれた
貴重な白蜜……♡♡♡

で……♡
で……♡
で……♡



お互いの提案を
拒むようなことは
決してしません



あ……♡

肛門エッチ

母に
めを





エルフの
しきたりー

はー

はー

また
坊やに...

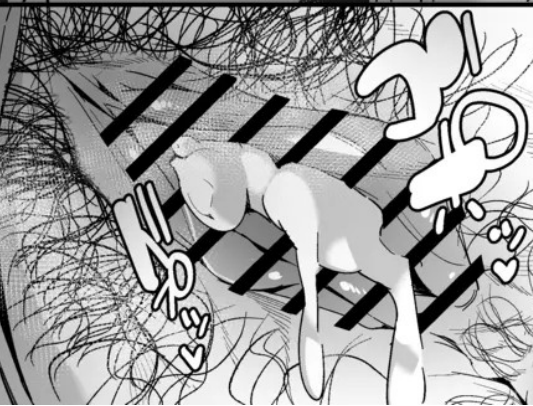
晒して
しまいました...

それは
相手を
深く知る行為

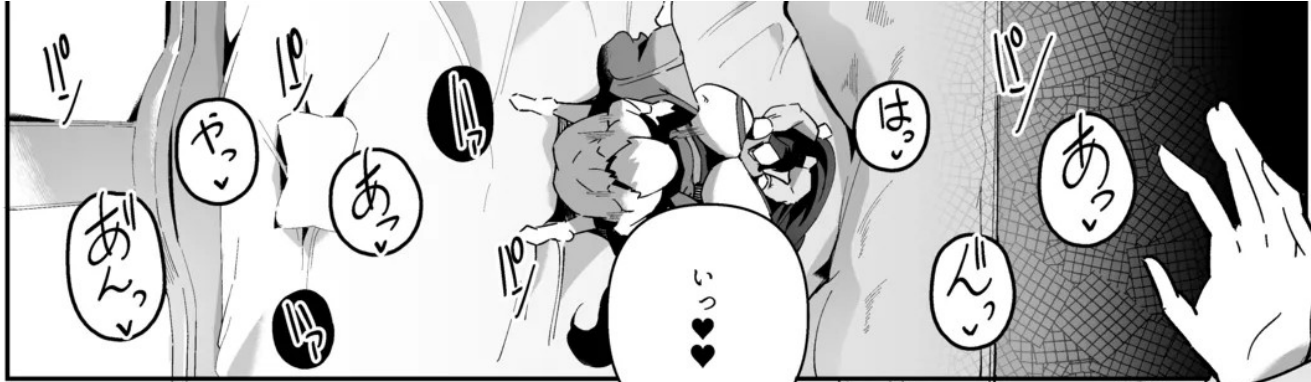
強い欲求を
曝け出す度に
実感しました
そしてー

母の...
淫らな姿...

リクとリーネは
その意味を







いっ♡♡♡
いけませんっ♡♡♡
寝る前にっ♡♡♡

こんなにも
無理矢理で……
乱暴なオマンコっ♡

だって
それでも
しないといっ



親として
女性として……



母さんが
好きなんだっ！

だから今日こそ
母さんのことを……！



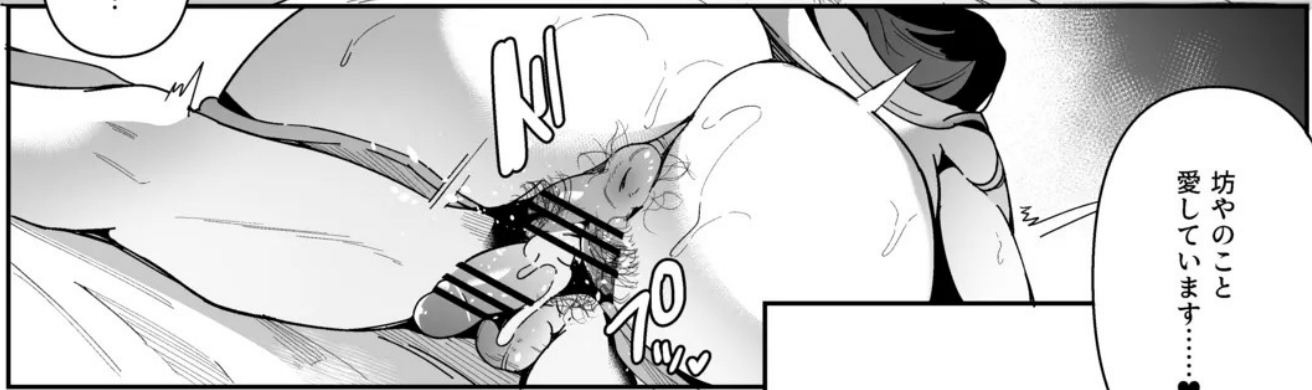
母も……

母も坊やと
同じ気持ちですよ……♡

だから
一緒に……♡

このまま……♡



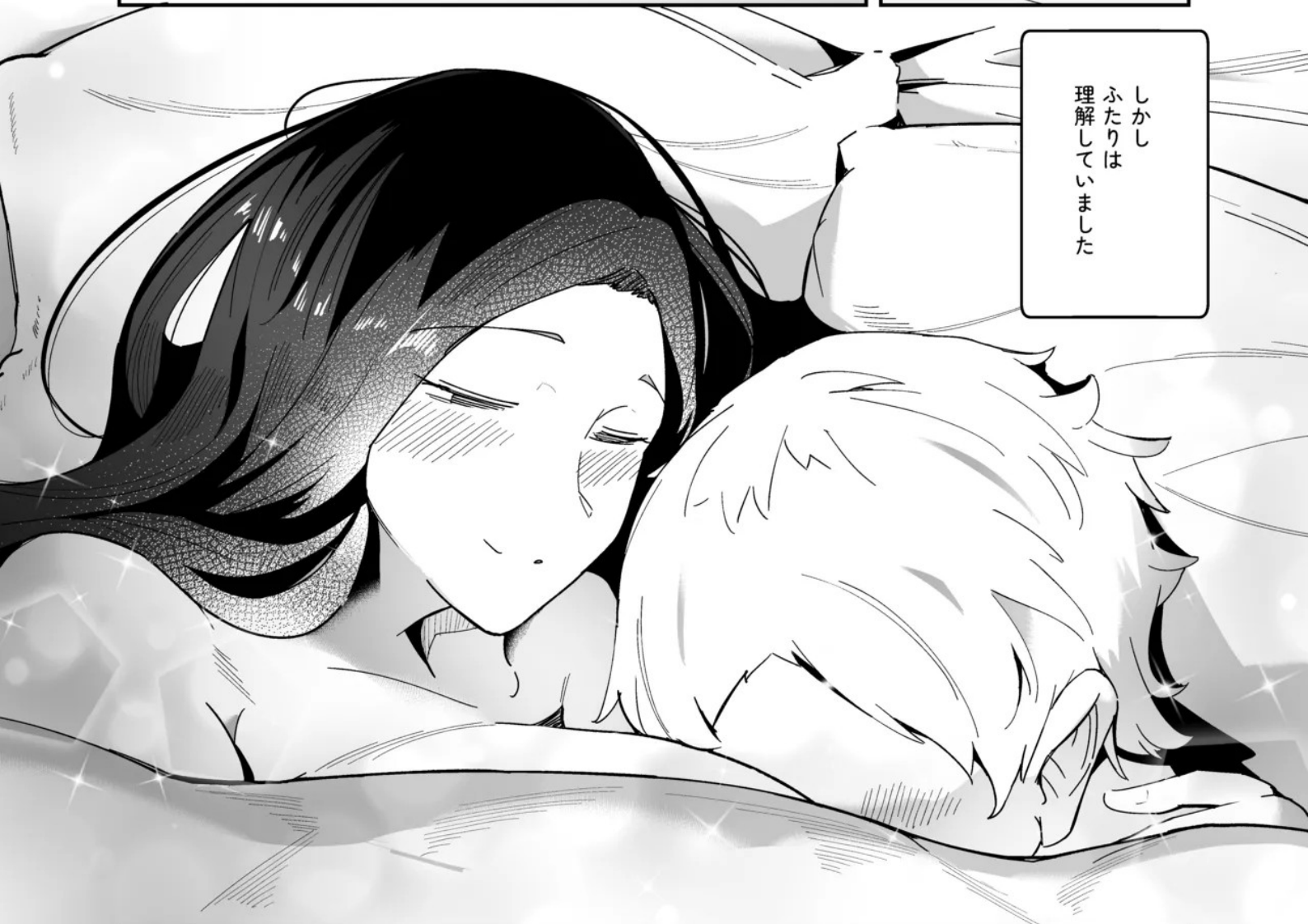




そして
受け止めた
リクとリーネ

とはいえ、
そのすべてを
さらけ出したという
わけではありません

エルフのしきたりを
終えるには
もう少し時間か
かりそうです

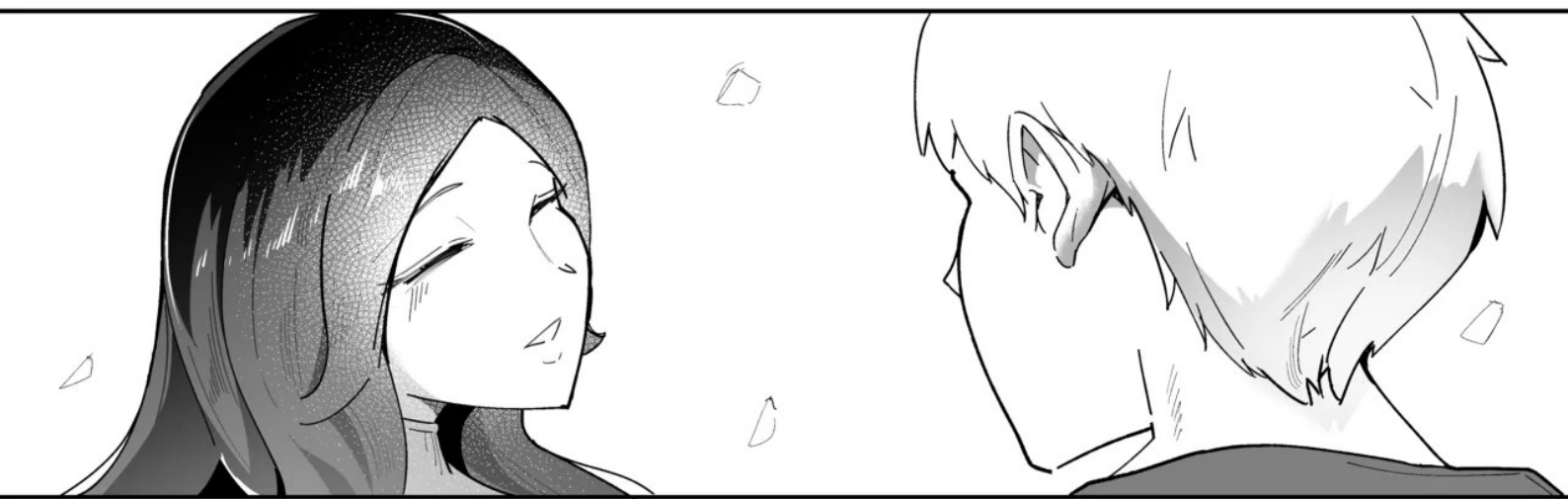
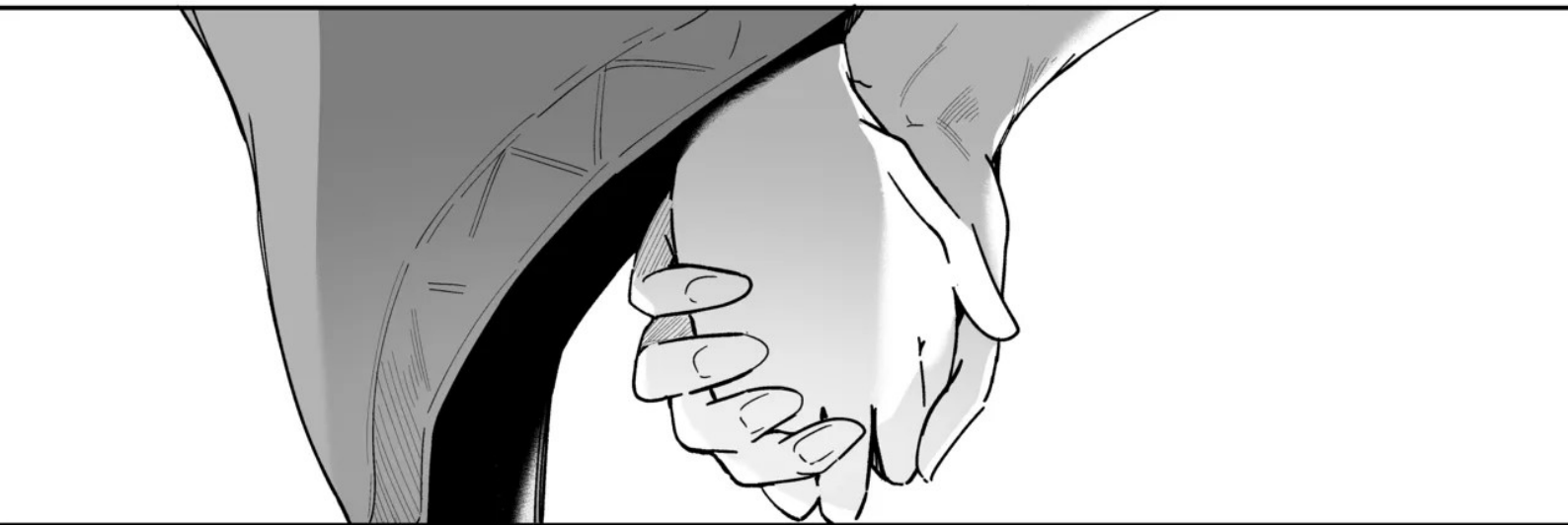


しかし
ふたりは
理解していました



これからもっと
深く信じ合える





その後のこと



◆ 気持ちも整理できたことで
リーネの行動はより積極的に、
そして大胆になっていきました。

◆ 最近では
「ご奉仕すること」に
恥じらいながらも
喜びと幸せを感じています。

あとがき

久々の同人漫画です。今回のネタは、前作のあとがきで四つほど挙げた候補の中の一つである「おばさんもの」...
...から転じての「養母」です。いろいろ凝ったことやろうとして時間がかかった気がします。

次はページ数少なめのシンプルな作品になるかもしれません。

余談ですが昨年、初単行本である「性愛交差点」が発売されました。興味がある方はこちらもよろしくお願いします。

奥付

タイトル： エルフの養母～愛するママとエッチなしきたり～

のうむさい

サークル： 濃霧菜

著者： ミヤシロヨースケ

Twitter： @y_mysr

連絡先： y-mysr@outlook.jp

・18歳未満は、この作品を購入・閲覧しないでください。
・この作品の無断転載や、複製・共有はしないでください



エルフの養母

～愛するママとエッチなしまたり～

成人向け

あるところに
リーネという
ハイエルフと

あら……♡

おかえりなさい♡

母さん
ただいま

頼まれてたヤツ
もらってきたよ

まあ……♡

いつもいつも
ありがとう♡

リックという
ハイエルフの青年が
共に暮らしていました





……ぎ、
気になくても
いいよ

俺が
やりたくて
やってるだけだし

いいえ……

ふたりの間に
血の繋がりはなくとも
実の親子のように



私には
わかります……

坊やの
優しさと



ありがとう ♡

私への
気遣いが……

仲良く
暮らしていました



俺、この後
母さんと――

大丈夫……♡

か……

母さんっ

全てを
口に出さずとも

坊やのことなら
何でも
分かります……♡

だから先に戻って
坊やの部屋で
待っていて……♡



すぐに
私も部屋へ
向かいますから……♡

幸せな毎日に
訪れた転機――

それは
リクからリーネへの
ある「お願い」が
きっかけでした



愛する者同士が
お互いを
深く知るために

性行為を行うという
「エルフのしきたり」



リクはその相手を
養母であるリーネに
お願いしたのです

その申し出に
リーネは
戸惑ったものの――



……
わかりました

母も
初めてですが……

共に
頑張りましょう……♡

その日



リックは
リーネを一日中
抱き続けました



「共に暮らしていても
知らないことが
まだたくさんある」――

身体を重ねること
そのことが
不思議と
理解できたのです

あ……

は

はあ





あらあら……♡

ごめん、母さん……
もうこれ以上
されたら――



それなら
母の
お乳オマンコで♡

坊やの
ねばねば
真っ白おしっこ♡

受け止めて
あげないと
いけませんね……♡

おにゃ♡



常に
献身的な
リーネの姿は

あ……♡

坊やの白蜜が
こんなに……♡



いつ果てても
いいですからね……♡



母の乳房が……♡

坊やの滾り汁で
いっぱいです……♡

リクにも
伝わり――





そして
そのたびに
思いました

どうやら
坊やも

準備が整った
ようですし……♡

しゃる…



今度は
こちらの……♡

母の
とろとろ
生オマンコ
にべろぞ……♡

おっ
おっ

「大切な母さんを
誰にも
渡したくない」
と――

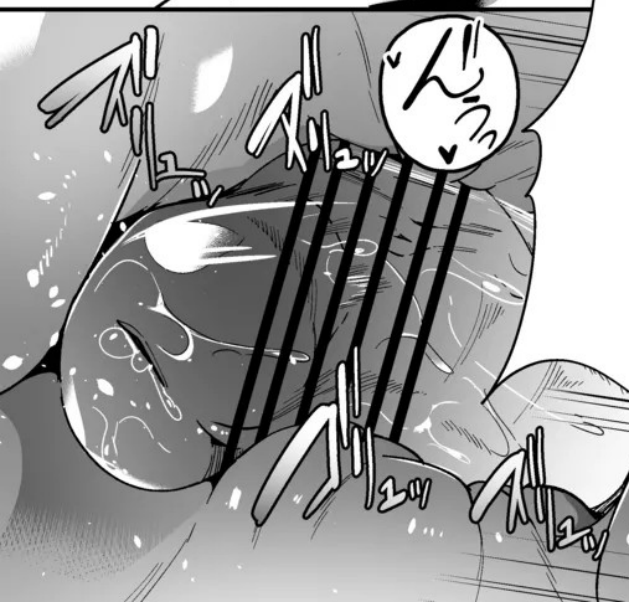


坊やの肉竿っ♡



オマンコの
中をっ♡

ほじくり回して
きますっ♡



毎日、毎日……

坊やがっ♡
こんなにも
求めてくれて……♡

母は嬉しく
思います……♡

今朝も
起きてすぐに

慌ててはっ♡
いけませんっ♡

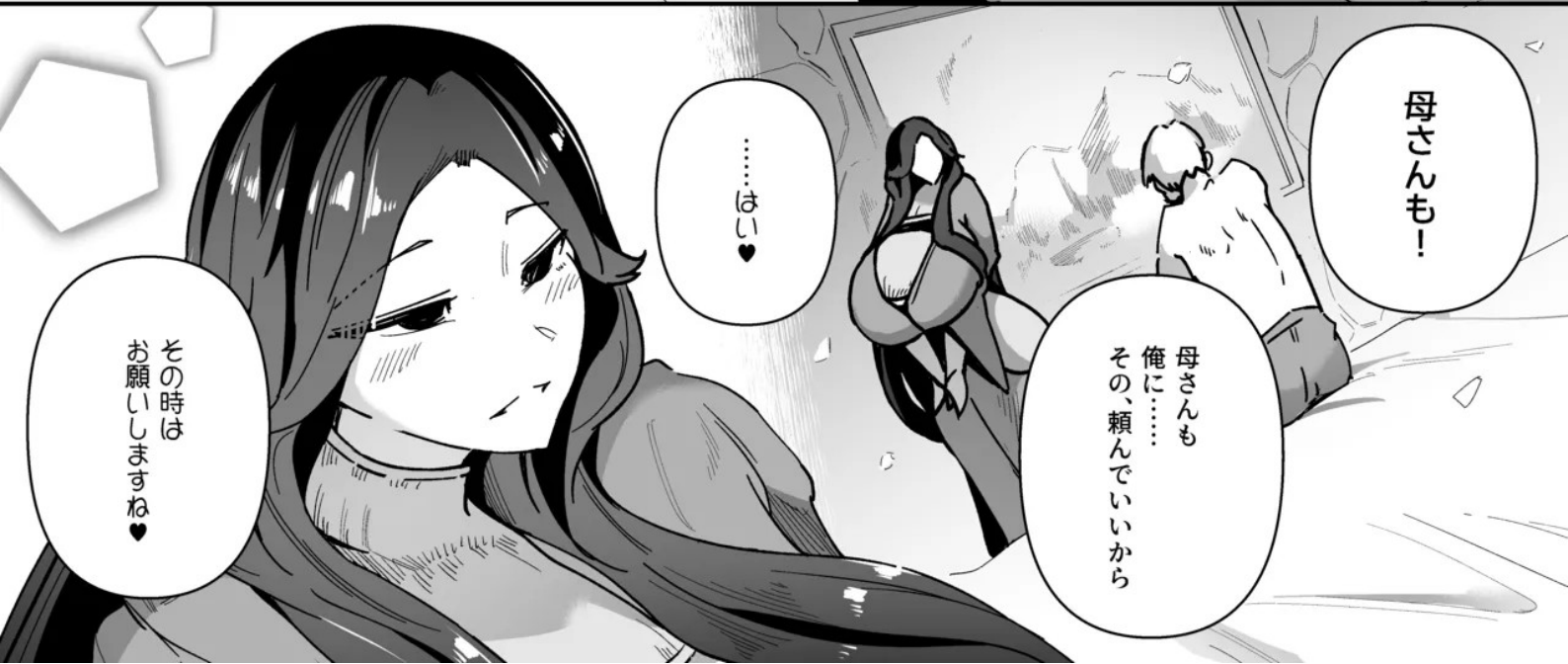
あれだけ
励んで
いましたから……♡

坊やは
まだっ♡

目覚めたばかり
なのですからっ♡







しかし

リーネが
リックへと頼むことは
一度もなく

それは
リックにとって
気がかりなことでも
ありません

……
喉乾いたな

しかし
ある日の夜――

それに……
この声……!?

あゝんん
あゝ
はゝ

……?
母さんの書斎から
明かりが……



母さん!?

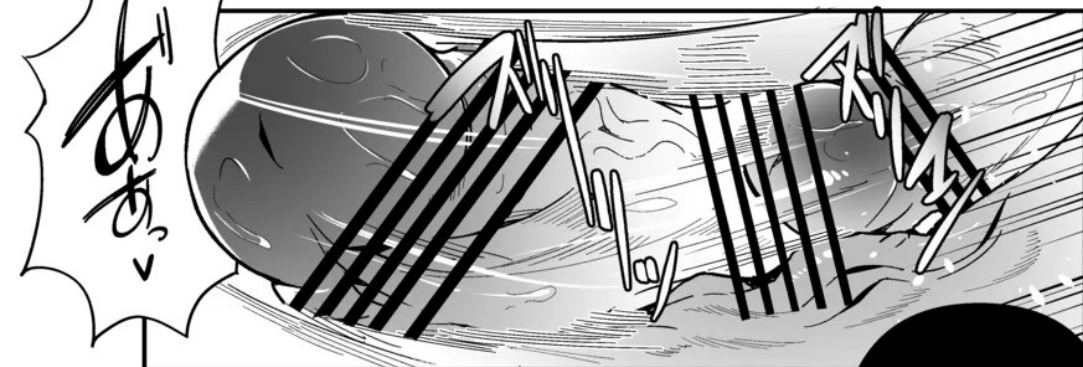
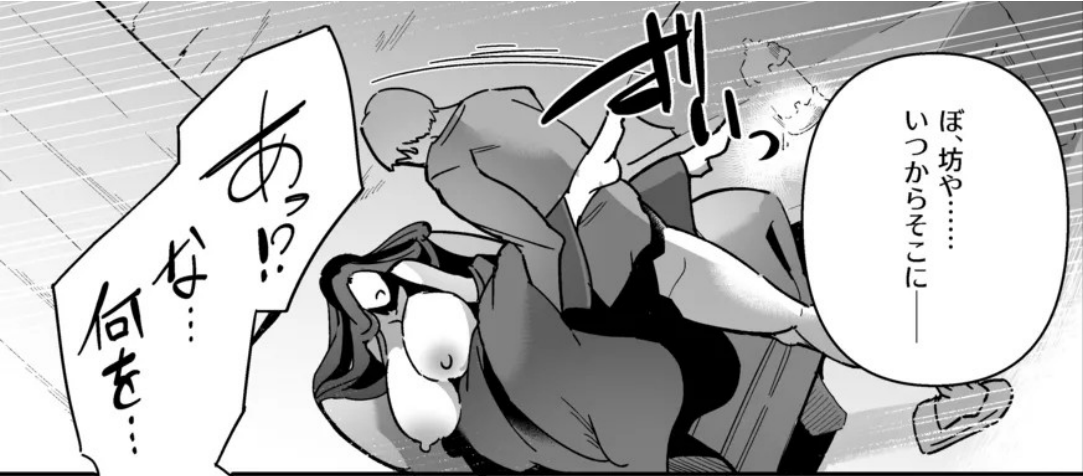
ダメ……♡
こんなこと♡

オマンコ♡

疼きが♡
止まらないの♡

リックは
リーネの痴態を
目にしてしまいます







……
怖かったのです……

坊やに……

嫌われて
しまうのでは
と……



夜な夜な
淫らな行為に
耽っている……

いやらしい
母の本性を
知られては……

坊やに……

軽蔑されて
しまう……



お願い……
このことは
忘れて……

母とは
今まで通り





母さんが
俺と同じ気持ち
だったんだから

甘め、
これ以上は
もう……



もっと
愛し合いたいと
思ってたんだ！

俺だって
母さんと



抑えきれなく
なつて
しまいますっ♡♡

母は坊やに
甘えきつて
しまいますっ♡

こんなっ♡
哀れな母を
求めてはっ♡

母は坊やに
甘えきつて
しまいますっ♡



母さん……

もう
遠慮しなくても
いいんだよ

あ……
は……

ため……
ため……

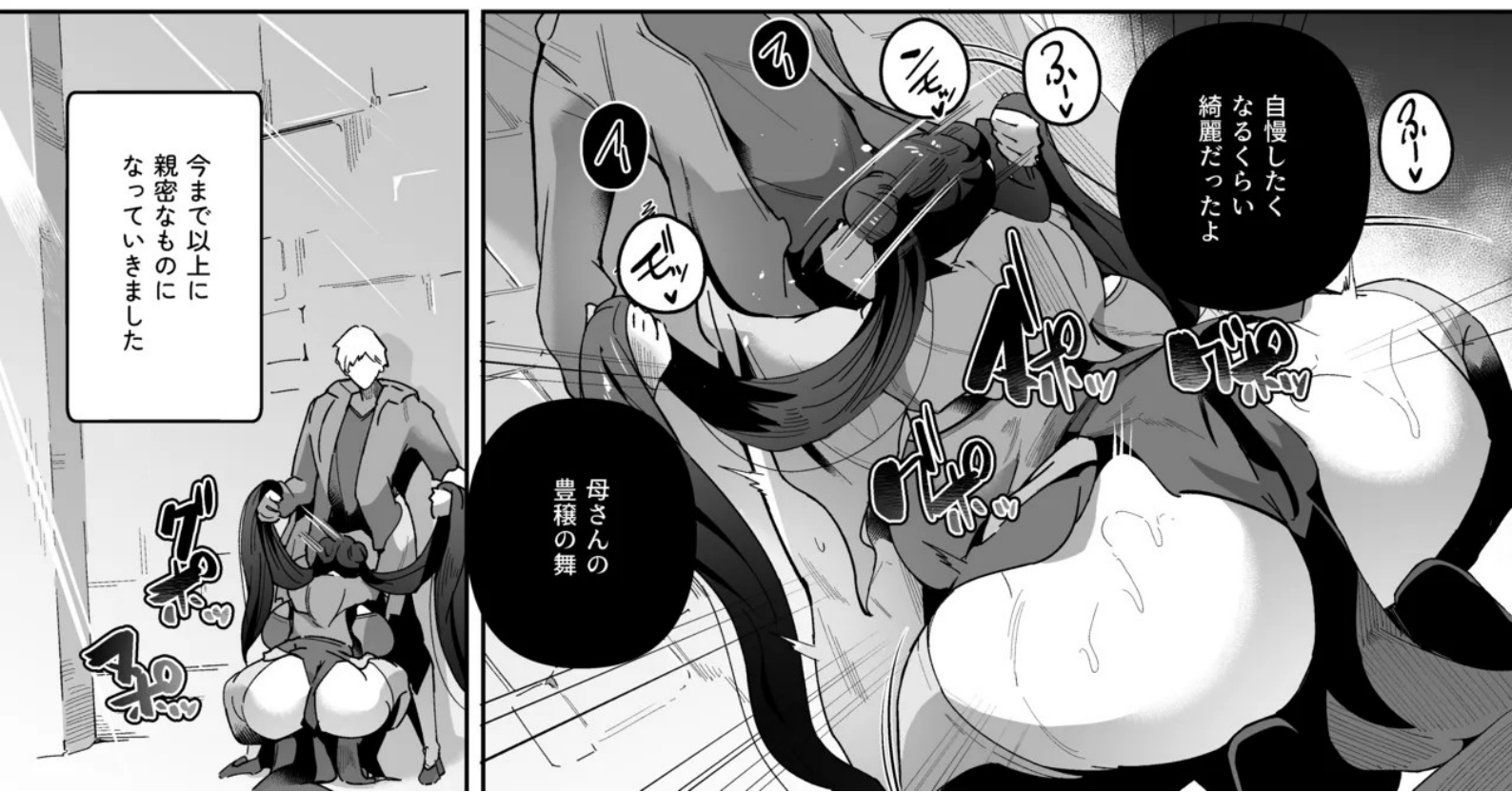
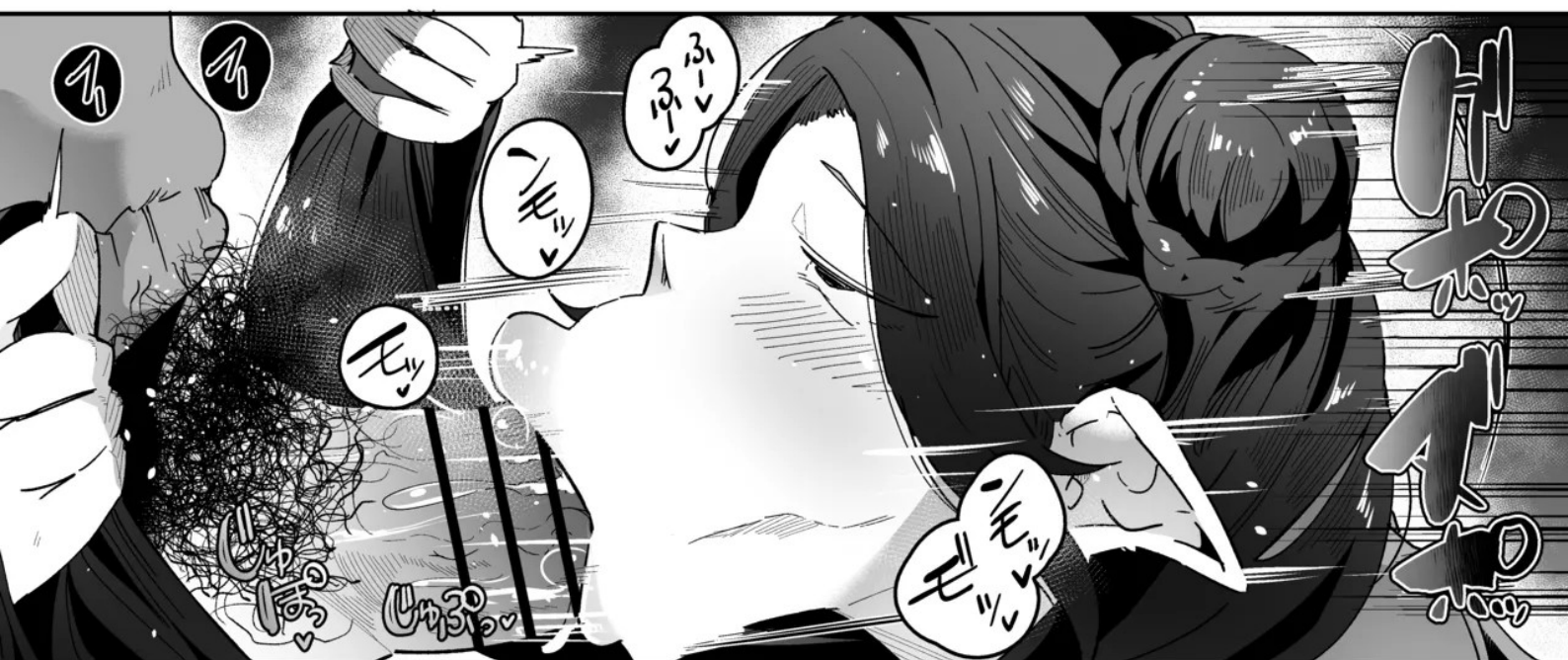
俺も母さんのこと
もっと
知りたいんだから

あ……

あ……



リクとリーネの
関係は



傲慢したく
なるくらい
綺麗だったよ

母さんの
豊穣の舞

今まで以上に
親密なものに
なっていました



リーネは
抑え込んでいた
淫らな欲求を

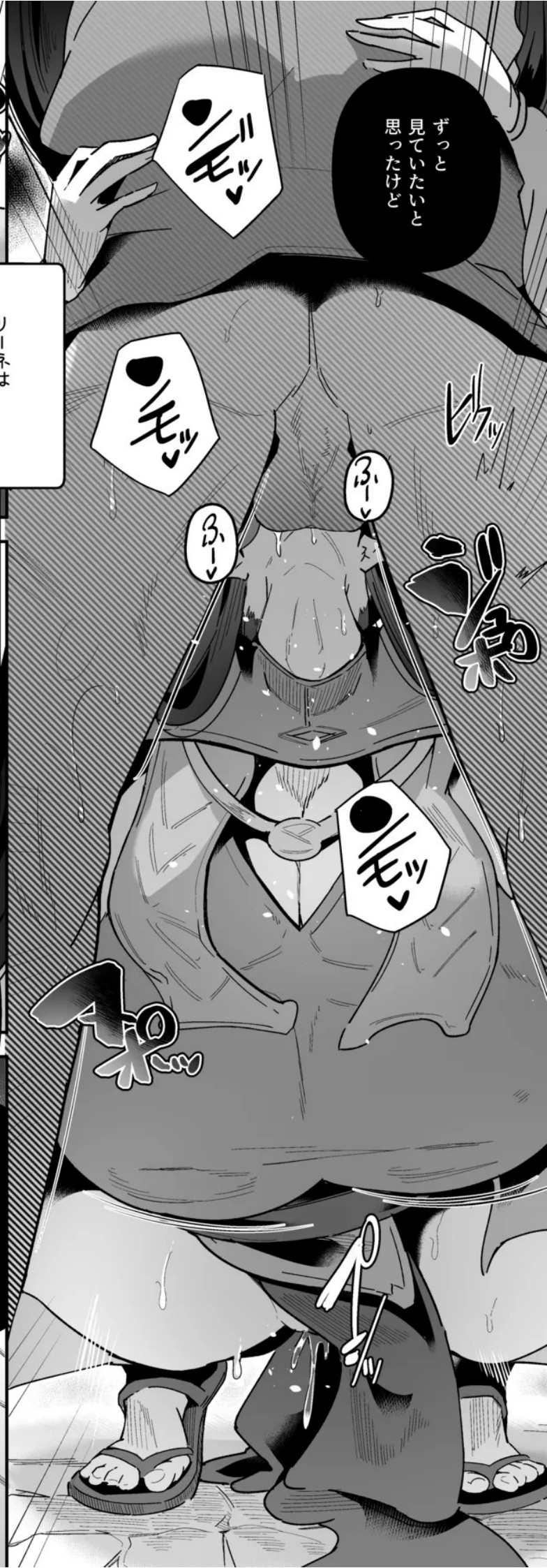


リクに
隠すことも
なくなりました



でも
今の母さんの
下品な顔の方が……

今の
俺にとっては……



ずっと
見ていたいと
思ったけど



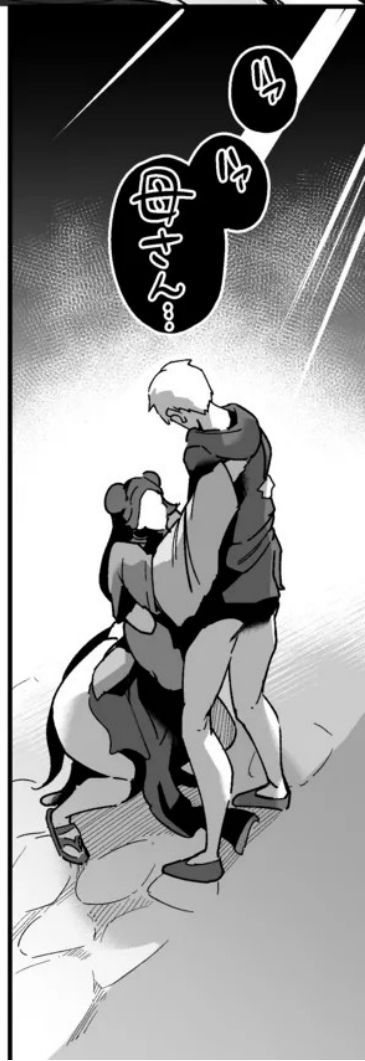
母さんに……
全部
搾り取られる……



それに
伴って



リックとリーネの
性行為の内容は





あ……

で……♡
です……♡♡
色欲に塗れた
卑しい母の
哀れな肛門から……♡

坊やが
注いでくれた
貴重な白蜜……♡♡♡

で……♡
で……♡
で……♡



お互いの提案を
拒むようなことは
決してしません



あ……♡

肛門エッチ

母に
戒めの





エルフの
しきたりー

はー

はー

また
坊やに…

晒して
しまいました…

それは
相手を
深く知る行為

強い欲求を
曝け出す度に
実感しました

そしてー

母の…
淫らな姿…

リクとリーネは
その意味を



母さん……

あらあら……♡



もつとたくさん
甘えんぼ
したいのなら……♡

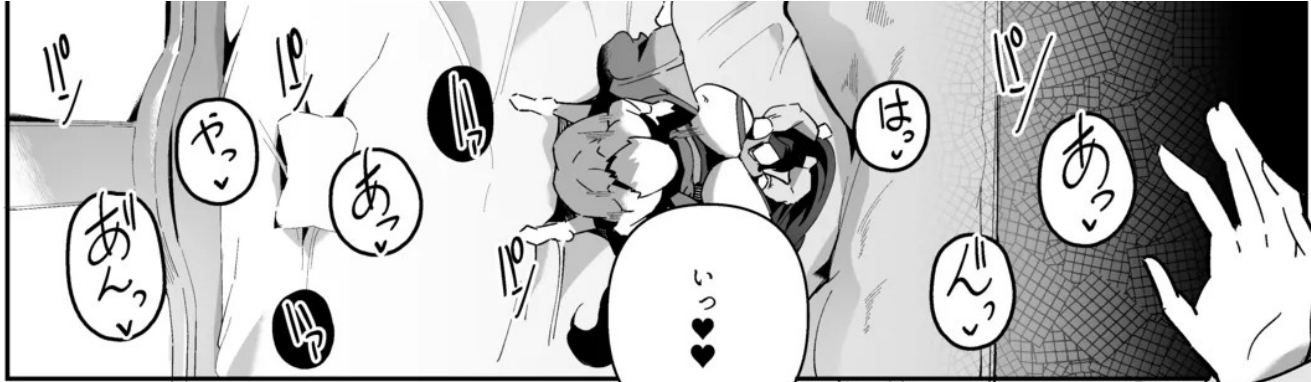
母さん、
かあ

おで
おで

母の寝室で
今日も一緒に
「おねんね」……♡

しましようか……♡♡

おねんね♡
おねんね♡



いっ♡♡♡
いけませんっ♡♡♡
寝る前につ♡♡♡

こんなにも
無理矢理で……
乱暴なオマンコっ♡

だって
それでも
しないといっ



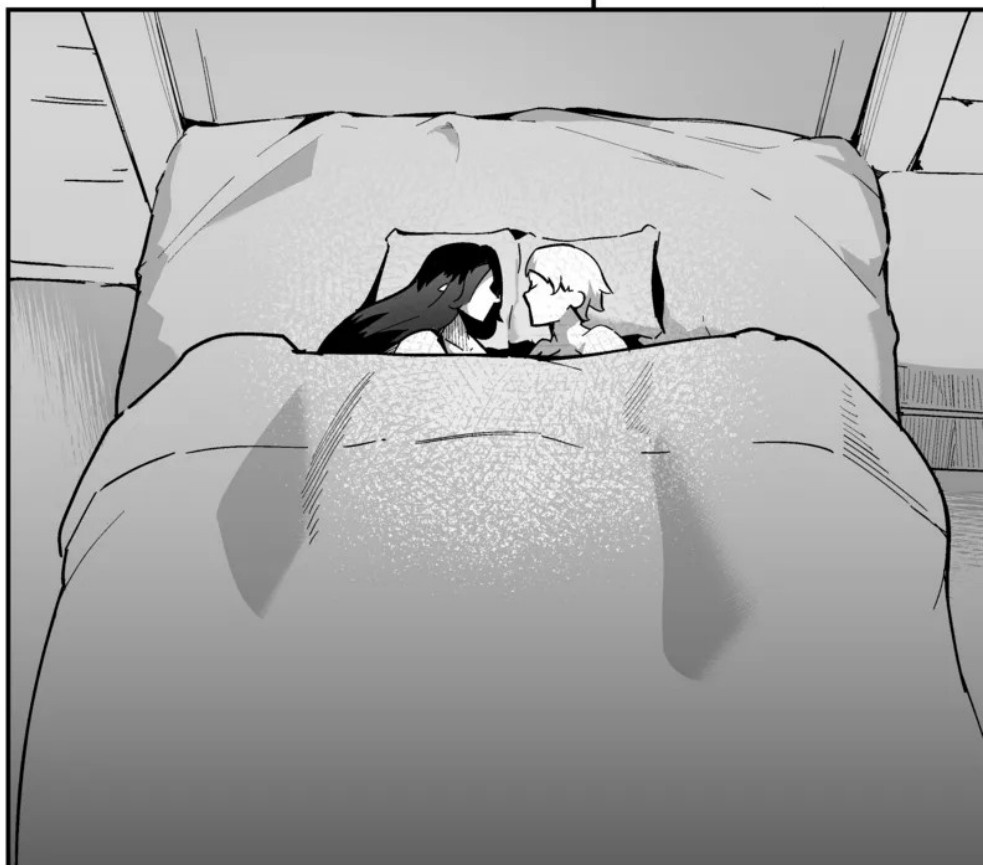
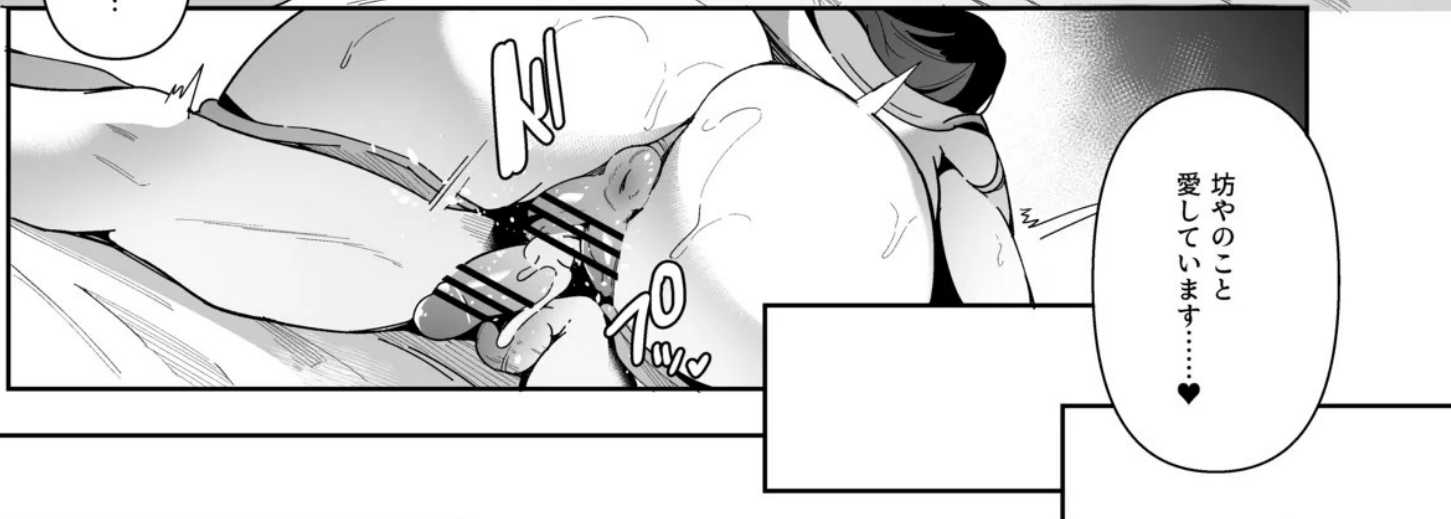
母も……

母も坊やと
同じ気持ちですよ……♡

だから
一緒に……♡

このまま……♡



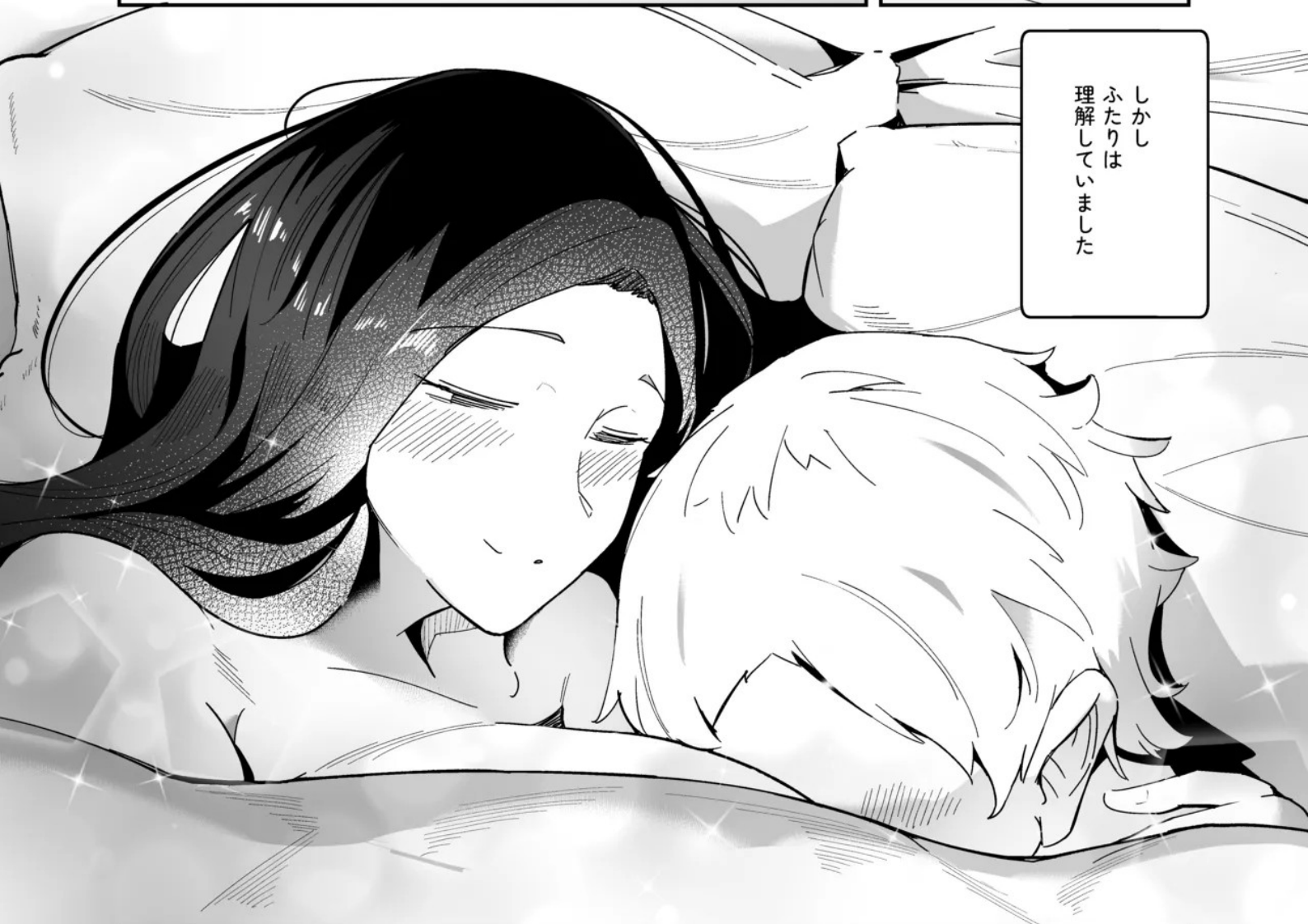




そして
受け止めた
リクとリーネ

とはいえ、
そのすべてを
さらけ出したという
わけではありません

エルフのしきたりを
終えるには
もう少し時間か
かりそうです

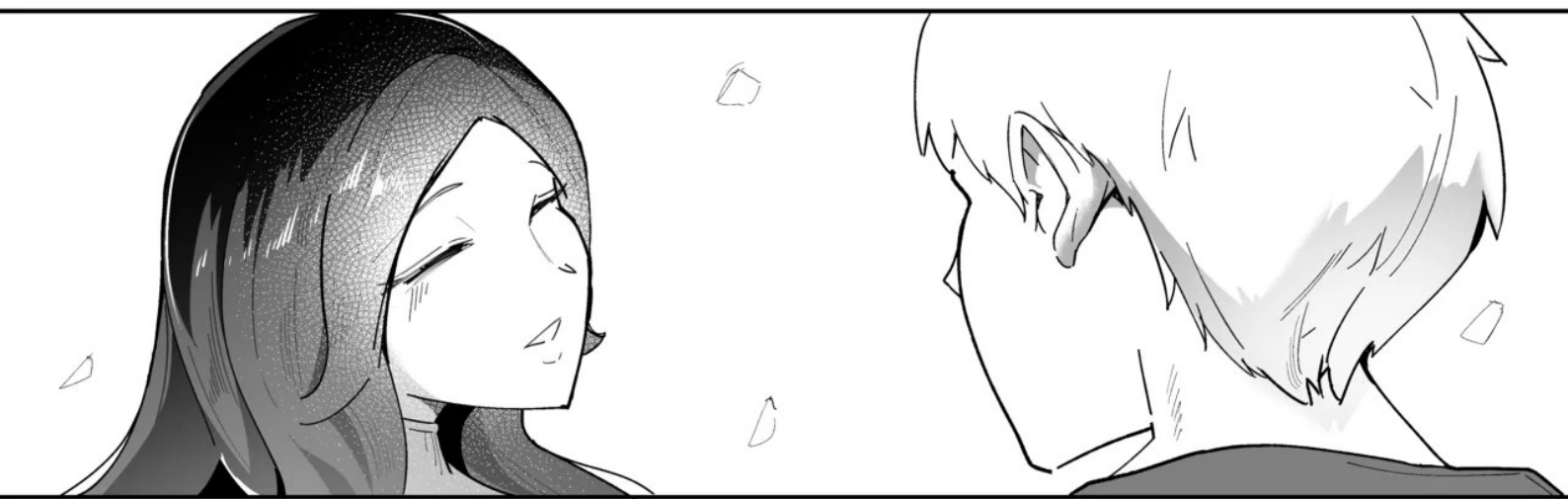
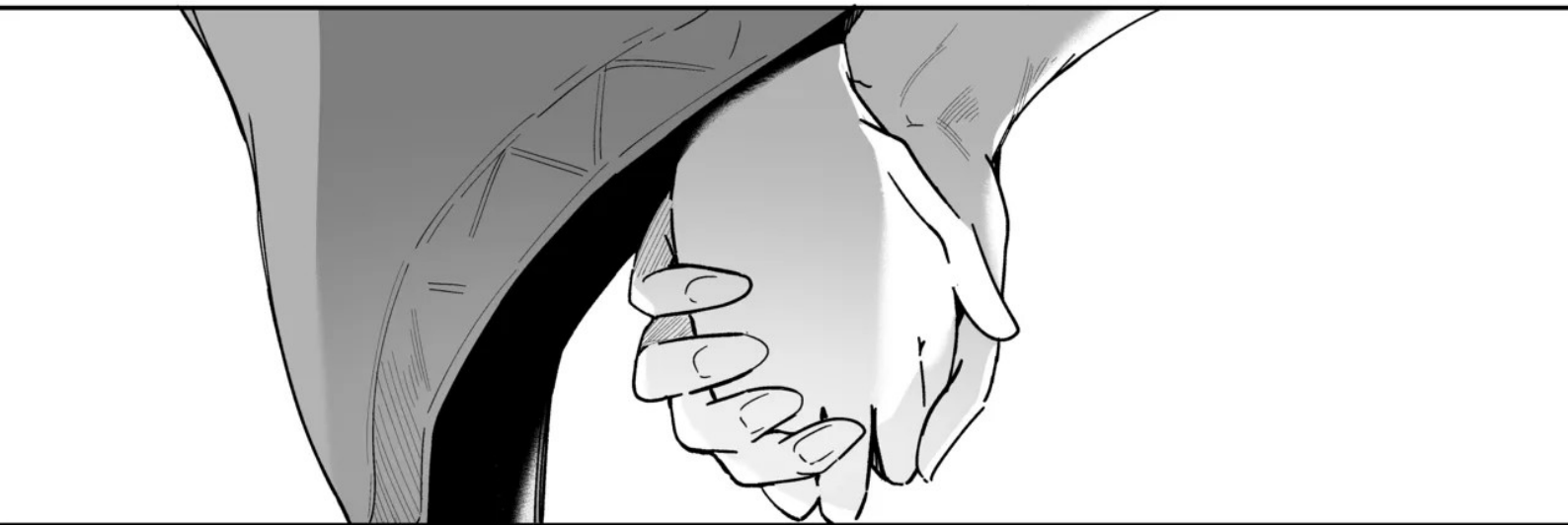


しかし
ふたりは
理解していました



これからもっと
深く信じ合える





その後のこと



◆ 気持ちも整理できたことで
リーネの行動はより積極的に、
そして大胆になっていきました。

◆ 最近では
「ご奉仕すること」に
恥じらいながらも
喜びと幸せを感じています。

あとがき

久々の同人漫画です。今回のネタは、前作のあとがきで四つほど挙げた候補の中の一つである「おばさんもの」...
...から転じての「養母」です。いろいろ凝ったことやろうとして時間がかかった気がします。

次はページ数少なめのシンプルな作品になるかもしれません。

余談ですが昨年、初単行本である「性愛交差点」が発売されました。興味がある方はこちらもよろしくお願いします。

奥付

タイトル： エルフの養母～愛するママとエッチなしきたり～

のうむさい

サークル： 濃霧菜

著者： ミヤシロヨースケ

Twitter： @y_mysr

連絡先： y-mysr@outlook.jp

・18歳未満は、この作品を購入・閲覧しないでください。
・この作品の無断転載や、複製・共有はしないでください